



# SSHレターズ

長崎県立大村高等学校  
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/57号 2023/3/17

## ◆ 今年度の探究活動を通して

【SS探究Ⅰ：ミニ課題探究】（1年全学科）

- 数理探究科では「真実を探って明らかにしたい気持ち」を高めることができた。また、毎年課題となっていた「科学技術に関する学習意欲」「問題を解決する力」「未知の事柄への興味」についても高めることができた。
- 研修がコロナ禍前に近い回数実施ができて本物に触れる機会が増したことが一因であると考えられる。
- 今年度を含めて、指定5年間を比較すると、「未知の事柄への興味」「考える力」は継続してほぼ7割に達している。
- 1年次のミニ課題探究は探究の過程を体験することを重視して取り組んでいるため、先の2項目の割合が高いことは、これまでの取組が有効に作用していると考えられる。

【SS探究ⅡA：課題探究】（2・3年数理探究科）

- 「学んだことを応用することへの興味」「独自なものを創り出そうとする姿勢」「問題を解決する力」「国際性」を高めることができた。
- 課題探究での取組や英語でのポスター発表会などが大きく寄与していると考えられる。

【SS探究ⅡB：課題探究】（2・3年普通科）

- 「社会で科学技術を正しく用いる姿勢」「独自なものを創り出そうとする姿勢」「成果を発表する力」「プレゼンテーション力」を高めることができた。
- 最終発表会で運営指導委員や下級生、保護者や近隣中学生といった多様な方々を前にしての発表を行い、これまで以上に発表の練習を重ね、当日自信を持って発表ができたことが「プレゼンテーション力」の向上に大きく寄与していると考えられる。



【SS探究ⅡC：課題探究】（2・3年家政科）

- 「発見する力」「独自なものを創り出そうとする姿勢」を高めることができた。
- 「生物セミナー」「食品セミナー」など5つの外部連携セミナーに加えて、その事前事後の学習が効果的であったと考えられる。



## ◆ 今年度の成果

【発表会等への参加】

- SSH生徒研究発表会で発表
- 長崎県生物学会での発表
- NU-サイエンスファイトへの出展
- 長崎西高校と共同運営するオンライン学術誌「若者たちの科学雑誌」への論文掲載
- WWL全国フォーラム、WWL長崎フォーラムへの参加
- マイプロジェクトアワード長崎県プレサミットへの参加

【外部への成果・情報発信】

- 理科部研究論文・生徒課題探究成果物集の作成、配付
- 未来デザインイノベーションフェアの開催、運営
- SSHレターズの発行・配付（保護者、運営指導委員、学校評議員、市役所、近隣中学校）
- ホームページによるSSH活動や成果についての情報発信

## ◆ 卒業生からのメッセージ

私は、高校2年生の時から、細菌類とプランクトン類についての研究を淵山先生に指導していただきながら活動しました。そのなかでも、大村高校の代表として様々な場所で発表できたことが印象に残っています。中学生の時は、人の前で発表するなんて考えられなかった私が、たくさんの方々に助けられながら、神戸で開催されたSSH生徒研究発表会で無事に発表できたことは大きな自信となりました。SSH事業をきっかけに、今後はより探究を深めたいと思います。SSH事業に参加することができて本当に良かったです。

私は課題探究を通して、たくさんの大切なことを学ぶことができました。自分が知りたいことについて、自分で方法を考えながら探究を深めていくという経験は初めてだったので、とても楽しかったです。その経験を通して、1つの物事を多方面から見ることの重要さや、どんなに小さなことでも記録を取っておくことの大切さを理解することができました。高い壁にぶつかったこともありましたが、先生方や仲間のサポートで乗り越えていくことができました。課題探究以外にも、SSH指定校だからこそその貴重な体験をたくさん経験することができたので、ここで学んだことをこれからは活かしていきたいです。

SSH活動の詳細は、下記URL

または2次元コードから

→ <http://www.news.ed.jp/>

[omura-h/ssh/SSH.html](http://omura-h/ssh/SSH.html)

